

令和7年度 教育学部 地域指定枠・教員養成特別枠 学校推薦型選抜 小論文問題

受験番号	
------	--

次の文章を読み、下の【問1】および【問2】に答えなさい。

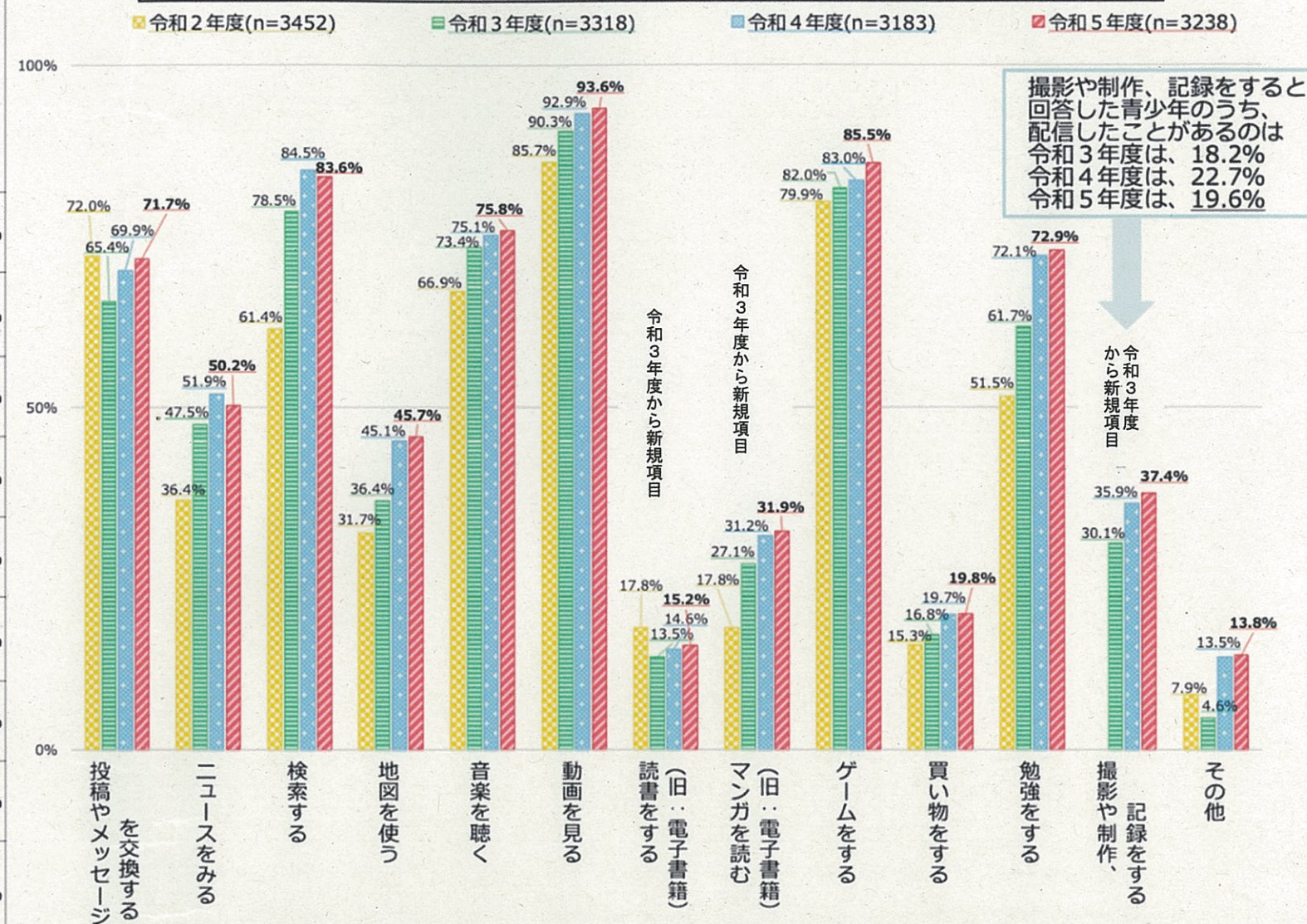
別紙の〔資料〕は、こども家庭庁(2024)「令和5年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果(概要)」で示された「青少年のインターネットの利用内容」についての回答の一部である。

【問1】 別紙の〔資料〕から、青少年のインターネットの利用状況について、どのようなことが読み取れるか、着眼点を絞って300字以内で説明しなさい。

【問2】 【問1】での回答を踏まえ、もし、あなたが学校の教員になった場合、子どものインターネットの取り扱いについて、どのような取り組みをしていきたいか、想定する学校種(幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校など)を明記した上で、あなたの考えを600字以内で記述しなさい。

○青少年のインターネットの利用内容（いずれかの機器、スマートフォン、GIGA端末/令和5年度）

		投稿やメッセージ交換をする	ニュースをみる	検索する	地図を使う	音楽を聴く	動画を見る	読書をする	マンガを読む	ゲームをする	買い物をする	勉強をする	撮影や制作、記録をする	その他
いずれかの機器	総数 (n=3238)	71.7%	50.2%	83.6%	45.7%	75.8%	93.6%	15.2%	31.9%	85.5%	19.8%	72.9%	37.4%	13.8%
	小学生 (10歳以上) (n= 936)	46.5%	34.3%	72.8%	22.3%	50.7%	90.5%	8.3%	9.6%	87.5%	4.9%	67.3%	30.4%	17.4%
	中学生 (n=1241)	76.1%	52.0%	85.5%	44.4%	79.9%	94.1%	13.8%	31.5%	87.5%	13.4%	73.1%	35.5%	13.8%
	高校生 (n=1044)	88.8%	62.5%	91.0%	68.1%	93.2%	95.8%	23.0%	52.3%	81.4%	40.1%	78.3%	46.2%	10.4%
スマートフォン	総数 (n=2436)	82.9%	39.9%	81.7%	51.0%	80.0%	88.3%	14.7%	36.4%	72.1%	23.1%	42.4%	37.3%	3.6%
	小学生 (10歳以上) (n= 409)	61.1%	15.9%	60.6%	18.3%	50.1%	75.8%	4.2%	10.0%	66.5%	5.1%	17.4%	30.3%	2.9%
	中学生 (n= 991)	84.9%	36.6%	83.0%	46.9%	79.2%	88.0%	12.4%	32.1%	72.4%	13.6%	39.4%	34.8%	3.7%
	高校生 (n=1021)	89.6%	52.6%	88.6%	67.8%	92.6%	93.6%	21.1%	51.3%	74.0%	39.0%	55.6%	42.7%	3.5%
GIGA端末	総数 (n=2286)	7.6%	11.5%	62.9%	13.3%	6.3%	18.5%	3.3%	1.1%	6.2%	0.5%	80.7%	15.6%	6.8%

青少年のインターネット利用内容の経年比較
(いずれかの機器/令和2年度から令和5年度)

(注1) 「いずれかの機器」とは、青少年に対して調査した7機器（スマートフォン、契約していないスマートフォン、携帯電話、自宅用のパソコンやタブレット等、学校から配布・指定されたパソコンやタブレット等（GIGA 端末）、ゲーム機、テレビ（地上波・BS等のテレビ視聴時間は含まない）のうち、いずれかの機器でインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

(注2) 「スマートフォン」とは、スマートフォンでインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

(注3) 「配信したことがある」は、いずれかの機器で撮影や制作、記録をすると回答した青少年をベースに集計。回答数は以下の通り。
令和5年度 (n=1212) 令和4年度 (n=1143) 令和3年度 (n=1000)

(注4) 令和3年度から「読書をする」、「マンガを読む」と「撮影や制作、記録をする」を新規追加。令和2年度までは、「投稿やメッセージ交換をする」は「コミュニケーション」、「ニュースをみる」は「ニュース」、「検索する」は「情報検索」、「地図を使う」は「地図・ナビゲーション」、「音楽を聴く」は「音楽視聴」、「動画を見る」は「動画視聴」、「読書をする」と「マンガを読む」は「電子書籍」、「ゲームをする」は「ゲーム」、「買い物をする」は「ショッピング・オークション」、「勉強をする」は「勉強・学習・知育アプリやサービス」としていた。

(出典資料：こども家庭庁「令和5年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（概要）」令和6年2月の一部修正)

採点・評価基準(具体的基準)

教科・科目名	小論文(大学入学共通テストを課さない学校推薦 型選抜:令和7年度)	問題番号	
対象学部・ 学科(課程)等	教育学部学校教育教員養成課程(教員養成特別枠・地域指定枠)		
出題のねらい	① 出題のねらい 本学部アドミッション・ポリシー「教育問題や教育活動に関心が高く、教職への適性・志向性をもつとともに、教員として必要となる基礎的な知識や技能、新しい課題を解決するための思考力・判断力・表現力、および他者と協働的に課題に取り組むことを可能にするコミュニケーション力等」を問うことである。 ② 出題の形式 解答時間は60分で2題を出題した。資料を示し、問いに答える形式とした。 ③ 出題内容の抜粋 次の文章を読み、下の【問1】および【問2】に答えなさい。 (説明と資料提示、詳細は略。出典資料:こども家庭庁「令和5年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果(概要)」令和6年2月の一部修正) 【問1】 別紙の〔資料〕から、青少年のインターネットの利用状況について、どのようなことが読み取れるか、着眼点を絞って300字以内で説明しなさい。 【問2】 【問1】での回答を踏まえ、もし、あなたが学校の教員になった場合、子どものインターネットの取り扱いについて、どのような取り組みをしていきたいか、想定する学校種(幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校など)を明記した上で、あなたの考えを600字以内で記述しなさい。		
採点基準	4名の採点委員が、表現力・思考力の2観点で採点を行った。		